

ファミリーマートはベルマークを通じて被災地支援を継続しています。

2015年度ベルマーク寄贈レポート① 2015年5月29日
宮城県石巻市立石巻小学校へお届けしました。

ファミリーマートは、店頭・食品工場・池袋本社から集まったベルマークを東日本大震災以降、東北地方の被災小学校に寄贈を行っており、少しでも学校生活で子どもたちの支援につなげればと、この活動を継続しています。

石巻小学校へのお届けは今回で5回目となり、2011年の初回から毎年継続して行っています。石巻小学校の子どもたちが笑顔で充実した学校生活を送るために皆様からお預かりしたベルマークが活かされています。

ファミリーマートはこれからも継続して東北地方の子どもたちの支援を行ってまいります。



寄贈を受けて



宮城県石巻市立石巻小学校
校長 佐藤 文夫 様

今年度、本校に着任しましたが、ベルマークをご提供いただくのが今年で5回目と伺い、本当にありがたいことだと感じております。点数もさることながら、何より全国から集めていただいたものであることに意義があると思います。

仕分け作業には大変な労力が掛かりますが、PTAの皆さまもその意義を十分ご理解いただき、非常に熱心に取り組んでいただいております。本当に頭が下がる思いです。

本校は、今年の4月に近隣にあった門脇（かどのわき）小学校と統合し、69名の児童を迎えました。

門脇小学校は、地震による津波と火災によって校舎が大きな被害を受けたため、児童は中学校の校舎で学校生活を送ってきました。そのため、不自由を強いられることも多かったようです。

全国の皆さまからご提供いただいたベルマークを門脇小学校出身の児童にも活かせるものに役立てていきたいと思っております。

みんなで力を合わせ新しい石巻小学校を創っていきます。

本当にありがとうございました。今後ともご支援のほど、よろしくお願い致します。

寄贈を行って



東北第1ディストリクト
管理業務グループマネジャー
長江 喜美夫

昨年に引き続き、石巻小学校様を訪問させていただきました。

今年度、新しい校長先生に代われ、近隣の小学校と統合されるなど大きな環境の変化がございましたが、今回も仕分け作業を含め、快く引き受けていただきました。

統合した門脇小学校出身の児童の中には、遠くの仮設住宅から歩いて通っているお子さんもいるとのことですが、そんな中でも、小学生が当たり前のように体験する運動会などの学校行事や通常の授業にイキイキと取り組み、みんなで楽しく学校生活を送っていると伺いました。

東日本大震災からの復興は途上ではありますが、健気に、明るく、たくましく日々成長している生徒の皆さんに、全国のお客さまからお寄せいただいたベルマークをお届けできることに喜びを感じると共に大変光栄に思いました。

今後もファミリーマートを通じ、全国のお客さまの温かいお気持ちをお伝えしていきたいと思っております。引き続き、活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。